

## 私の家族

五年 森本夢來

みなさんは生き物をかったこと、お世話したことはありませんか。私は今とてもかわいいねこをかっています。名前は「なつつ」と言います。

なつつはペットショップで出会ったわけでもなく、友達から赤ちゃんをゆずり受けたわけでもありません。なつつは家の近くの草むらで、見つけたのです。拾ったのは妹と母だったので、私は家に帰ってくるとダンボールで作られた家があって、中をのぞくと小さな子ねこがいました。最初のころはミルクをだれがあげるかでけんかしていました。拾ったころは手に乗るくらいのおおきさだったのに、今ではうでにもおさまりきれないほどの、大きさになりました。

最近になつつのためにでかけるときもエアコンつけっぱで、ねこは夜行性ですがなつつは毎日人間とくらしているから人間と同じ生活になっています。

しかしなつつはくいしんぼうすぎて、おちているかみのけやゴムを食べてしまうのです。私も気をつけなければいけないのですが、私の家族は5人中4人が女子なのでなかなか直らず結果なつつのおなかからゴムやかみの毛を取り出す手術までにつながってしまいました。

この手術で2〜3日なつつがいなかった日自分たちがかうと決めたのにも思い、かみをしばったら、そうじきをかけるゴムを見つけたらかたづけするなど気をつけて生活するようにしました。そうしたらかみの毛の数はへったけどごはんの時間は6時なのに4時半からニャーニャーとなきはじめて、つきまとってくるようになりました。

最後に私はこれから生き物をかう人に、伝えたいことがあります。ペットショップや友達からのゆずりうけで生き物をかうことになったときかわいいだけでかかってしまうと、いぬやねこにとって、動物にとって本当に幸せといえますか？それを考えて行動できる、考えられる人がねこやいぬが一番かってもらえてうれしいと思える人なんじゃないかと思います。

私もそれをふまえて、なつつとたくさんふれ合って、思い出を作っていきたいです。